

新たなニーズに対応するテーパカッター導入による生産プロセスの構築

同社商圏において顧客ニーズが高まる全層高耐蝕特殊積層管の加工・施工技術の確立を目的に、最新設備を導入。大幅な生産能力及び品質の向上を実現させ、効率的な生産による安定供給体制の構築で競争力を強化した。

取組の背景 特殊分野における顧客要望に応え、チャンスロスを解消

塩ビ及びFRP樹脂（ガラス繊維強化プラスチック）など各種耐酸・耐蝕樹脂の配管工事を得意とする同社。主な納入先である化学メーカーでは、炭素と酸素と塩素の化合物で毒性の高いホスゲンなどの気体に対して、全層高耐蝕特殊積層管（フジパイプ）という特殊な配管が施工仕様として定められている。通常パイプを切断後、継手を接合するためには、パイプ先端を斜めに加工するテーパ開先加工を行う必要がある。従来、同社ではφ25～φ100までのパイプは手動式の加工機で加工していた。電動式の加工機はリース対応のため、顧客からの要望日程とリース期間が合致しない場合があり、多くの受注案件を逃していた。そこで、テーパ開先加工に必要な電動式の加工機を導入することで、安定供給体制を整えた。



未来を見据えて
高付加価値を創出

ADVICE

未来の姿をイメージして、高付加価値を生むものに投資を



代表取締役 弘津 大輔

補助金が採択された時点では、パイプを成形する発想はありませんでした。機械導入による高付加価値化が、プロとしてのゆるぎない自信と誇りにつながり、他の事業にもチャレンジする発想が生まれたのだと感じます。新しく機械を導入しても、誰にでもできる仕事をするのでは意味がありません。自社の強みを踏まえた上で、優位性のある事業をどう展開するかを考える。将来の姿をイメージして、付加価値が上がるものに対して投資することが大切だと思います。そのために必要なのは、常にアンテナを張り、人に会い、情報を集めること。大きな夢を持ち、自分の感覚を信じて、果敢にチャレンジし続けてください！

今後の展望

パイプの成形から加工・施工まで一貫した内製化に挑戦

新しく導入した機械のおかげで、自社の名前が全国に知られるようになりました。全層高耐蝕特殊積層管の加工・施工については、県内市場のリーディングカンパニーを目指しています。取引先は県東部が主体ですが、西部での受注拡大を目指すべく、宇部市に営業所も立ち上げました。現在は化学プラントが中心ですが、今後は半導体や医薬、食品関係も視野に入れ、新規獲得に努めたいと考えています。また、メーカーとしてFRP樹脂管の成形を行う準備も急ピッチで進めており、2023年3月から本格稼働の予定です。現場工事だけでなく、ものづくりを内製化することで、収益の安定化を図り、地域雇用の創出につなげていきたいと考えています。

取組内容

手動式から電動式に変更することで、効率的な生産性の向上を実現

全層高耐蝕特殊積層管（フジパイプ）専用の電動式テーパカッターをパイプサイズ別に合計4台導入した。φ125～φ300は手動でのテーパ加工は困難であり、電動式での導入での新たな取組となる。手動式から電動式に変わったことで、加工時間の短縮や加工精度の向上を実現。また、後工程での継手の接合までの時間短縮や継ぎ目の強度にもつながった。



φ25～75 φ50～125 φ100～125 φ200～350

1カ所あたりの加工時間の比較 単位：秒

パイプサイズ	旧設備	新設備	短縮時間
φ25	180	20	1/9
φ50	300	30	1/10
φ75	420	42	1/10
φ100	600	60	1/10



取組成果 他社にない強みを付加して優位性を高め、企業として大きく飛躍

配管内を通る流体は危険性が高いため対応は一刻を争う。今回導入した電動式テーパカッターにより、顧客の要望に即座に対応できるようになり、チャンスロスを防げる体制が整った。また、毎回のリース代が不要になり、コスト削減に直結した。これによって、付加価値の高い加工・施工が可能となり、市場における競争力強化、収益性の向上が図れた。また、個々の経験に頼らず安定的に品質が確保できるようになったことで、技術力の維持・継承という点においても効果が期待できる。現在、全層高耐蝕特殊積層管のテーパ開先加工に対応できる会社は限られているため、全国からの問い合わせも増え、顧客拡大につながった。

株式会社弘津工業

〒746-0064 山口県周南市若山2-4-26
 TEL 0834-34-8008 / FAX 0834-34-8418
<https://hirotsu-ind.jp>
 業種 管工事業
 資本金 1,000万円
 従業員数 13名(令和4年11月)
 2013年創業
 代表取締役 弘津 大輔



2006年に個人事業を立ち上げ2013年に法人化。樹脂配管専門のプロ集団として、化学コンビナート群の工場、化学会社向けPVC製ダクトの配管工事を主として行う。その後、耐酸・耐蝕樹脂の塩ビ・FRP樹脂配管工事から管工事全般、プラント工事へと業務の幅を広げている。設備投資にも力を入れ、様々な専用機械や機械工具を自社完備。創業10年にして急成長を遂げている。